



ごが

No.130

議会だより

平成26年3月1日発行 発行／五霞町議会 編集／議会広報編集特別委員会 〒306-0392／茨城県猿島郡五霞町大字小福田1162-1 ☎0280-84-1138



中学生議会

●12月定例会・要望活動	2～3
●ここが聞きたい一般質問（3議員）	4～6
・町の再生可能エネルギー事業導入の現状は	
・介護保険料の上昇抑制対策は	
・圏央道I C周辺開発の進捗状況は	
・カントリーエレベーターの更新について	
・地域福祉の取り組みはどうなっているのか	
・「広報ごが」の全戸配布の検討結果は	
●中学生議会	7
●議会トピックス・議会の流れ・次回定例会	8

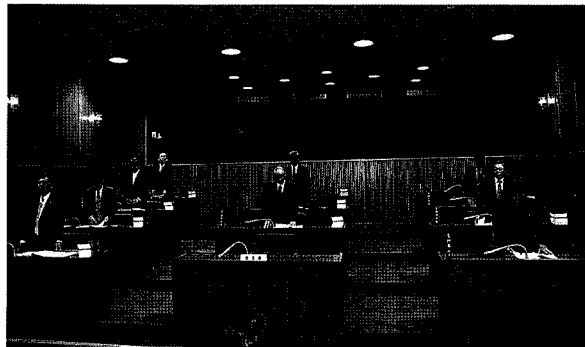
平成25年12月定例会(第4回)

平成25年第4回定例会を12月9日から13日までの5日間の会期で開催しました。

本定例会では、平成25年度五霞町一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例改正等16件の議案等が提出され、全ての議案を原案のとおり可決しました。

これに先立ち、総務文教委員会、経済建設委員会を開催し、関連議案について審議しました。

また、町政全般にわたる一般質問には3名の議員が登壇し、町執行部の考えをいただきました。
(※審議結果は3ページ、一般質問は4ページから掲載しています)



新4号国道を管轄する宇都宮国道事務所へ要望活動を実施

要望事項の主な内容

1. 新4号国道冬木斜路橋の架け替え

冬木斜路橋は、新4号国道開通当時の昭和55年に架設され、その後、国から五霞町に移管、現在は町が管理を行っている。

同橋は、五霞町としては、新4号国道を横断できる重要な町道の幹線道路の一部として、また、通学路としても重要な役割をしている。しかし、1車線通行であり、橋の頂上でしか車同士の擦れ違いができない。また、車道と歩道が防護柵（ガードパイプ）で区切られているだけで、交通事故等の問題が懸念されている。

架設後34年となるため、経年とともに劣化が激しくなっているうえ、東日本大震災による影響により、段差等も確認されている。

五霞町では、大変厳しい財政状況のため、架け替えをするのは不可能であり、国（宇都宮国道事務所）に架け替えをお願いする。

2. 新4号国道6車線化の早期完成について

新4号国道五霞町地内においては、片側1車線のため、慢性的な交通渋滞が発生している。現在、平成26年度中の4車線化に向けて急ピッチで工事が進められ、併せて新4号国道と町道5号線（道の駅「ごか」南側）の交差点改良工事も行われている。当交差点は、ボックスカルバートによる立体交差であり、暫定4車線化による平面交差の交差点改良工事が行われている。



当町道は、通学路としても多くの児童・生徒が利用しており、暫定4車線化工事完成後は平面交差となるため、歩行者の安全が確保されるようお願いする。

平成26年度中には、圏央道五霞インターチェンジの開通により、基幹道路である新4号国道はますます交通量の増加が見込まれる。町道5号線との交差点の改良工事（立体交差）も含め、一刻も早く6車線化工事に着工し早期に完成されるようお願いする。

平成26年1月30日 五霞町議会

平成25年第4回定例会で可決した議案等は下記のとおり。

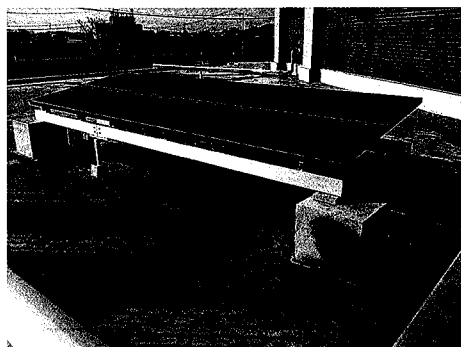
承認第6号	専決処分の承認について（平成25年度五霞町一般会計補正予算（第4号）） 歳入歳出それぞれ67万円の追加補正
議案第51号	五霞町行政組織条例の全部を改正する条例 課の設置及び分掌事務等の全部を改正し、行政組織再編をするもの （内容）・生活安全課の新置・建設環境課を都市建設課に再編 など
議案第52号 総	五霞町多目的集会センターの設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例 指定管理者による管理に関する条項の追加及び消費税法の一部改正に伴う条例の整備
議案第53号 総	五霞町公民館使用条例の一部を改正する条例 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第54号 総	五霞町営球場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第55号 総	五霞町福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第56号 総	五霞町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第57号 総	五霞町隣保館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第58号 総	五霞町介護保険条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第59号 総	五霞町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第60号 総	五霞町下水道条例の一部を改正する条例 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第61号 総	五霞町水道事業給水条例の一部を改正する条例 消費税法の一部改正に伴う条例の一部改正
議案第62号 総 総	平成25年度五霞町一般会計補正予算（第5号） 歳入補正総額2,458万6千円 ・保育士等処遇改善臨時特例事業補助金 388万3千円 ・子ども子育て支援新制度に係る電子システム構築等事業補助金 648万円 ・財政調整基金繰入金 △8,798万2千円 ・臨時財政対策債 9,860万円 など 歳出補正総額2,458万6千円 ・福祉センター修繕料 520万円 ・子ども子育て支援新制度に係る電子システム構築等事業委託料 648万円 ・保育士等処遇改善臨時特例事業補助金 388万3千円 ・中小企業事業資金保証料補助金 200万円 ・財政調整基金積立金 300万円 など
議案第63号 総	平成25年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ857万8千円の追加補正
議案第64号 総	平成25年度五霞町水道事業会計補正予算（第2号） （収益的収入及び支出）支出 326万円の追加補正
請願第2号 総	B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の請願 提出者：B型・C型肝炎救済茨城の会 副代表 栗原茂晴氏

総 = 総務文教委員会付託 総 = 経済建設委員会付託 △ = 減額



伊藤 正子 議員

町の再生可能エネルギー事業導入の現状は 住宅用太陽光発電設備の導入を 補助していく



非常用電源設備（東小）

設への非常用電源設備は、平成24年度に県から市町村再生可能エネルギー導入促進事業費補助金4,500万円の交付を受け防災拠点及び避難施設に整備したものです。太陽光パネル発電設置やメガ

問 町の再生可能エネルギー事業について、平成24年度に住民及び公共施設への促進事業として導入された事業の補助金の現状と継続について。また、公共施設への非常用電源の設置、太陽光パネル発電・メガソーラー設置についての考えは。

町長 原子力発電所の安全性に対する不安から、クリーンエネルギーの関心が高まっています。平成24年度から再生可能エネルギー推進事業補助事業を実施しており、住宅用太陽光システムを設置された方に対し費用の一部を補助しています。事業期間を5年間という形で、その後については経過を見ながら検討したい。

また、平成24年度に役場をはじめ学校、保健センターなど防災上重要な拠点となる町内10カ所の施設に、太陽光を利用した非常用電源設備を整備しました。太陽光パネル発電・メガソーラー設置については、現在のところ具体的な計画はありません。

建設環境課長 住宅用の太陽光発電設備の整備に対する導入費用の一部を補助しています。補助対象は、町内に住所を有する方で、上限を10万円として1kwあたり3万円を補助する制度です。平成24年度の実績は20件で、補助額は194万3,900円でした。今年度も現在までに16件の申請を受け付けています。また、公共施設への非常用電源設備は、平成24年度に県から市町村再生可能エネルギー導入促進事業費補助金4,500万円の交付を受け防災拠点及び避難施設に整備したものです。太陽光パネル発電設置やメガ

ソーラー施設の建設誘致などに取り組む自治体が

多いと聞きますが、導入の是非については、十分

な協議・検討が必要となります。

問 介護保険料の上昇抑制対策は

答 介護予防事業を重点的に取り組み、将来的な負担軽減に努めたい

問 介護保険制度について、制度が施行されて13年が経過し、高齢化のスピードが速く、様々な問題が生じています。介護認定の仕組み、介護サービス利用費軽減制度、介護保険料についてお聞きします。

健康福祉課長 町は介護認定申請書の提出を受け、訪問調査と同時に主治医に対し意見書の提出を依頼します。その調査結果と意見書をもとに一次判定を行い、最終的に介護認定審査会に諮り介護度を決定しますが、平均で約1カ月を要します。また、介護サービスの利用費軽減については、「五霞町社会福祉法人による介護保険サービス利用者負担軽減制度」を定めています。保険料については、現在第5期保険料の上昇を抑制するため、介護給付費の準備基金を取り崩して4,500円に設定しました。制度を長く存続させるためにも、将来、介護にならないための予防事業が必要で

町長 介護保険制度の基

本目標は、高齢者が介護が必要になっても、可能な限り住み慣れた地域で生活が存続できるようなサービスの提供体制を推進することです。

当然、介護給付費については、今後とも年々増えてい

くことが予想され、将来的な負担をいかに軽減するか、介護保険制度を存続していくために一番必要な部分だと思えますので、介護予防事業に重点的に取り組んでいき、介護保険事業、保険制度が存続できるように町も支えていきたい。



介護予防事業（元気はつらつ倶楽部）



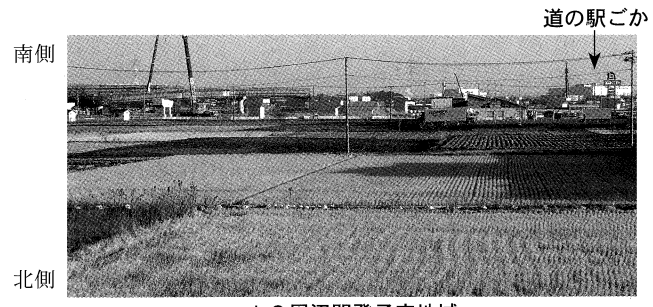
問 圏央道IC周辺開発の進捗状況は 答 市街化区域編入が決定しました

藤沼 喜義 議員

問 市街化区域編入の進展状況は。
町長 平成25年10月28日付け県報で告示され、市街化区域の編入について都市計画決定されました。

問 業務代行業者の選定の決定時期は。
建設環境課長 平成26年9月を目前に、業務代行予定者と土地区画整理組合で契約を締結し、決定する見込みです。業務代行予定者は清水建設㈱とエム・ケー㈱のグループです。

事業期間は平成26年度
問 圏央道・新4号国道の工事にあわせた対応は。
町長 圏央道の一部開通（久喜白岡JCTから境IC）が平成26年度、これらにあわせて、新4号国道の4車線化が図られる予定となっています。完成後には町内の交通量が著しく増加すると思われるので、町道5号線のアクセス道路の整備、新4号国道から町道8号線までを平成28年度までに行います。また、通学路にもなっています冬木橋（通称たいこ橋）も、架け替え等も含めて国交省に対応を申し入れています。



IC周辺開発予定地域

から28年度までとし、平成26年10月頃から造成工事が始まる予定です。
問 開発区域への進出業者の意向は。
町長 現在、業務代行予定者のところには商業、工業、物流など数十社からの問い合わせがあると聞いています。

町としても地元企業、商工会等に意向調査を実施しています。

問 圏央道・新4号国道の工事にあわせた対応は。
町長 圏央道の一部開通（久喜白岡JCTから境IC）が平成26年度、これらにあわせて、新4号国道の4車線化が図られる予定となっています。完成後には町内の交通量が著しく増加すると思われるので、町道5号線のアクセス道路の整備、新4号国道から町道8号線までを平成28年度までに行います。また、通学路にもなっています冬木橋（通称たいこ橋）も、架け替え等も含めて国交省に対応を申し入れています。

建設環境課長 町道5号線の整備計画は計画延長

約1km、計画幅員12mの予定です。
問 道の駅ごか周辺の優先的利用は可能か。
町長 現在、道の駅の駐車場が満杯の状態ですの

問 カントリーエレベーターの更新は 答 ライスセンター方式へ調整中

で、業務代行予定者と協議して、有効利用できるよう検討して参ります。
問 地権者の土地譲渡の意向は。
建設環境課長 業務代行

予定者による意向調査によれば、地権者122名中115名の意向を確認したところ約95%の方が売却の意向というところで

問 老朽化の進んでいるカントリーエレベーターの更新は。
町長 平成23年12月に町、議会、農業委員会の三者連名で茨城むつみ農協へ要望書を提出し、以降、平成26年度に国の交付金制度を活用したライスセンター方式の事業に着手すべく、所要の調整を行っているところ

です。町としても農業基盤の整備のため、可能な限り支援したいと考えています。

問 平成25年産米の結果について。
産業課長 茨城県西部の作況指数は102（やや良）で収量は10アルあ

たり537kgでした。品質は1等米73%、2等米25・5%、3等米1・5%で、今年は胴割米が品質低下を招いた大きな要因となっており、着色米は減となっています。

今後とも、品質向上のため、病害虫防除協議会による防除薬剤の補助等を進めます。

問 道の駅直売所の推移はどうか。
町長 総売上げに対する町内産の売り上げ割合は、開設当初の39%から平成24年度には53・9%に伸び、生産者も167名の登録中118名（70・7%）が町内です。引き

続き新規生産者の確保対策、PR、援助等を検討します。
問 減反政策の変更に伴う対策は。
産業課長 5年後の廃止や交付金の見直し等が報道されましたが、国・県からまだ指針が示されていません。明確化した段階での対応を考えております。

問 6次産業化への取り組みは。
町長 五霞町そば組合で本年12月8日にそば焼酎の商品化に至りました。今後も五霞町特産品の開発・育成を含めた6次産業化の推進に努めます。

問 地域福祉の取り組みはどうなっているのか 答 社協と連携して各種事業を推進している

青木 正彦 議員



問 平成24年3月に策定された「五霞町地域福祉計画」は、地域福祉の充実を図るために、支援が必要な人に多様なサービスが提供されていくこと、困りごとなどに関して気軽に相談できる場所を確保し必要な情報が届くことがうたわれていますが、活動内容の実績や特徴をお聞かせします。

(1)在宅福祉サービス、地域ケアシステム、その他

(2)相談窓口の確保と相談内容

(3)認知症の人を支える仕組み

町長 高齢者福祉等については、社会福祉協議会に委託をし、様々な事業を進めています。詳細は担当課長より説明させます。

健康福祉課長 (1)在宅福祉サービス事業は、ボランティアの参加登録により簡単な家事援助、通院・外出の送迎等を非営利・有償で提供するものです。平成24年度の実績は、協力会員14名、利用者202名。利用内容は通院介護1706件、身辺世話285件、外出・買い物627件等です。

地域ケア事業は、見守りが必要とする人に対するケアチームを民生委員、近親者、近隣住民等で組織し援助を行うもので、平成24年度は111のチームにより援助をしました。その他、一人暮らし老人への「緊急通報システム事業」紙おむつ事業」があります。社協独自の取り組みでは、配食サービス、給食サービス、布団クリーニングサービス、訪問福祉美容等を行っています。

(2)相談窓口の活動については、地域包括支援センターが行っています。平成24年度の相談件数は944件で、その内容は、サービス利用に関するもの706件、介護・日常生活の相談122件等になっています。

(3)認知症の人を支える仕組みづくりは、国の統計による認知症有病者は450万人、軽度の方は380万人と推計され大きな社会問題となる中で、地域で生活を継続できるような取り組みを行っています。その一つは、チェックリストで対象者となった方には、脳のトレーニング等を行っ

ています。また、認知症サポーターの養成講座の開催を予定しています。

成年後見人制度は、判断能力が不十分で資産管理が困難な方を保護するもので、町長による申立ての実施、研修講座の開催や後見ニーズの把握等を考えています。日常生活自立支援事業として、社協が窓口になり日常の金銭管理、通帳管理を行っている。



いきいきサロンぽかぽか茶の間
(地域ケアシステム推進事業)

問 「広報ごか」全戸配布の検討結果は 答 新年度実施を検討しています

問 「広報ごか」の全戸配布について、平成24年6月議会の一般質問で、「行政組合を通じる現状の配布方法では3割以上の世帯には確実に届かない。行政の責任で解決を図るべきではないか」と質問しました。町長は「行政の公平性からも配布方法を検討したい」と答弁されましたが、その結果をお伺いします。

町長 広報紙の配布を通

じて、地域のつながりを図っていくことが大切です。各行政区の事情の違いもあり、行政組合未加入世帯への配布方法をどうするか。全戸ポスティング方法であれば問題はないか等、近隣市町村の取り組み方も参考に、新年度の全戸配布実施に向けた検討をしているところです。

総務課長 具体的な検討内容ですが、全戸配布を

前提として、シルバー人材センターを含めた民間業者への委託、行政組合で未加入者をカバーする方法、行政連絡員の配置等、どういう方法が良いか、検討しているところです。

その他の質問項目

行政区のあり方検討委員会の「提言書」について

中学生議会を開催

11月28日、本会議場において、五霞中学校一・二年生による平成25年度五霞町中学生議会を開催しました。

中学生議会は、町議会並びに町執行部が次代を担う中学生の率直な意見・要望を聴取し、今後の町政に反映させ、将来も住み続けてもらえるような魅力や夢のあるまちづくりをするために開催したものです。

中学生議員は、各クラスの代表12名で、そのうち6名が事前にクラスの中で協議した意見や要望などを質問し、その質問に対して町長や関係課長等が答弁しました（※答弁は省略）。

各議員の質問の内容を要約してお伝えします。

青柳優衣 議員

「農業の振興と自然を生かした町づくり」

東京に近いという立地の利点を生かした、日帰り農業体験をしてもらう観光農園の創設や農業後継者の育成、五霞ブランドになるような農作物の販売などをどう進めていくか、今後の五霞町の農業のあり方をお聞きします。

藤沼蒼湖 議員

「高齢化社会に向けての福祉や介護の充実」

高齢化社会に向けた取り組みとして、まず少子化対策が必要だと考えました。また、お年寄りに対する福祉の充実とボランティアの派遣など高齢化社会への取り組みについて町の意見を聞かせてください。

松本慎太郎 議員

「幹線道路の整備や鉄道等への連絡の取り組み」

上船渡橋から国道4号線に出るまでの渋滞の緩和を図るため、幸手駅までのアクセス道路の整備についてと巡回バスの試行的な運行の料金を安くできないかをお伺いします。

杉本智沙 議員

「圏央道インターチェンジ周辺の開発について」

町内では欲しいものがないなか手に入りづらいという現状から、大型ショッピングセンターの誘致によって、町民のニーズに応えるだけでなく、圏央道や新4号国道を利用して人の流れができ、町の活性化にも良い影響を与えるのではないかと。また五霞町という名前を多くの人に知ってもらえるのではないかと。

松本麗可 議員

「五霞町の防災体制について」

日本各地で自然災害が頻発しており、伊豆大島の土砂崩れや野田市で突風による被害が発生した。五霞町でも、夏にゲリラ豪雨による停電が発生し不安な時間を過ごしたことから、水害対策をはじめとする安心・安全のための施策を伺います。

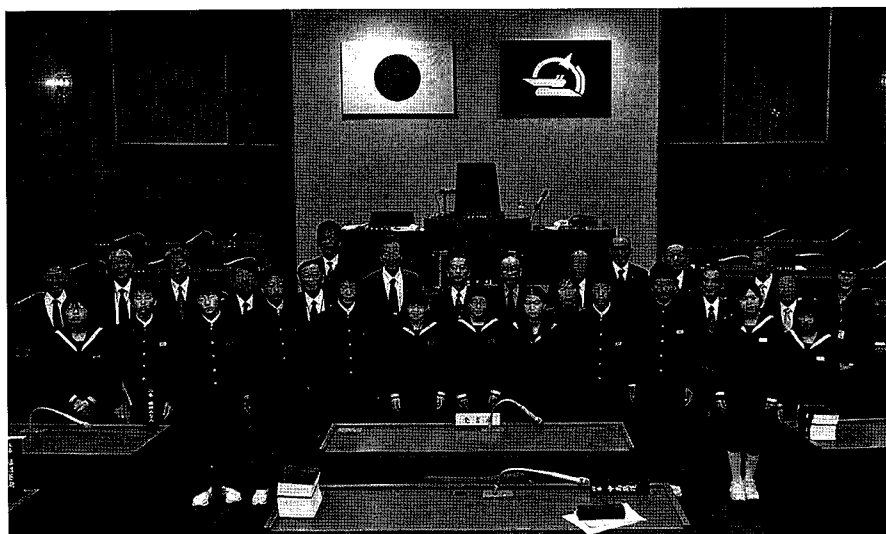
飯塚 巧 議員

「豊かな体験活動の充実について」

小学5年生で実施している五霞っ子体験交流学習の九十九里臨海学習や町内の様々な事業所で行う職業体験学習など、他にもたくさんあります。が、どれも楽しく有意義で心の成長に役立っており、学校生活にはなくてはならないものと考えますが、今後、これらの体験活動をどう充実していくのか、町の考えをお聞きします。

五霞町中学生議会議員名簿

議席番号等	氏名	学年・学級
議長	野村 翔 琉	2年3組
副議長	内藤 ひかる	2年1組
1	松本 慎太郎	1年1組
2	横田 みなみ	1年1組
3	青柳 優衣	1年2組
4	中島 熊護	1年2組
5	藤沼 蒼湖	1年3組
6	中村 明希子	1年3組
7	飯塚 巧	2年1組
8	杉本 智沙	2年2組
9	佐藤 広大	2年2組
10	松本 麗可	2年3組



中学生議会に参加した方々

●議会トピックス●

要望活動及び工事現場を視察

1月30日、宇都宮国道事務所へ新4号国道の6車線化の早期着工などを旨とした内容で要望活動を行いました。当日は、戸倉健司所長ほか、幹部の方に出席をいただき、要望及び意見交換を行いました（要望事項は2ページ参照）。

午後からは、同事務所、鶴巻正行建設監督官から、新4号国道の五霞町地内で現在行われている4車線拡幅工事及び今後の工事計画の説明の後、道の駅「こか」南側（町道5号線）で行われている4車線化の信号設置を含めた交差点改良工事を視察しました。



議会の流れ

12月9日	第4回定例会
12月10日	本会議開会
12月10日	総務文教委員会
12月10日	経済建設委員会
12月11日	一般質問
12月13日	第4回定例会
12月13日	本会議閉会
12月20日	議会全員協議会
1月8日	広報編集特別委員会
1月22日	議会運営委員会
1月22日	議会全員協議会
1月30日	要望活動 (宇都宮国道事務所)
1月31日	工事現場視察 (新4号国道拡幅事業)
2月14日	広報編集特別委員会
2月14日	広報編集特別委員会
2月19日	町村議会議員自治研究会（水戸市）
2月21日	議会運営委員会
2月21日	議会全員協議会

次回定例会

3/3(月)~3/17(月)

予定

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一般質問は3月13日(木)・14日(金)

問い合わせ先(質問議員・テーマ・時間等)

TEL・FAX 0280-84-1138

編集後記

春色なごやかな季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、いよいよ新年度から消費税が現在の5%から8%に引き上げられます。われわれ消費者にとって、この3%が非常に重く生活に負担をきたすことになり、顔も曇りがちになってしまいます。しかし、町では平成26年度中に圏央道が開通になり、五霞インターチェンジ周辺の開発も活発になってきます。それに合わせ新4号国道の暫定4車線化も進められる等、町にとつて非常に明るく歴史的な年になると思われます。この大きなチャンスをお大きな発展に変えるため、議会、町執行部が協力し合い、次世代の子どもたちのためのまちづくりを進進したいと思えます。

(編集委員 板橋英治)

